

とほかんだより(学而) No. 85

2007.4

「^{がくじ}学而」 = 学而時習之、不亦説好乎。(「論語」より)

- 学びて時にこれを習う、^{まよふこ}亦た説ばしからずや -

* 題字は 森本学長による

図書館を利用しよう

—新しい自己を発見し、自己を高めるために！

図書館長 **しし 通 庸** **ど みち やす**



希望と期待を懐いて大学生活の門をくぐった新入生の皆さん、入学おめでとう！皆さんは大学での学びに何を期待していますか。黙っていても大学は何かすばらしいものを与えてくれる場だと考えていませんか。もしそうなら、それは大きな間違いです。大学は自ら学ぶ者に大きな利益を与え、自ら学ぼうとしない者には利益を与えてくれません。ここが高校時代とは違うところです。でも、学ぶ意思のある者にはとてつもなく大きな見返りがあります。しかも、大学での学びは授業だけではありません。授業は大学での勉強の中心ですが、それだけが大学ではないのです。自ら学ぶ行動が要求されるところです。

図書館は自ら学ぼうとする知的欲求の高い学生には理想の場です。ここには必要な情報と必要な図書があります。また、静かに考え、学びたい学



生にはキャレル（個室）が用意されていますし、グループで勉強するためのグループ閲覧室もあります。

必要なものが欲しいときには相談に乗ってくれる図書課員もいて、皆さんのお手伝いをしてくれます。検索等は今ではすべてコンピュータで行いますが、使い方がわからなければ課員に聞くこともできます。図書館は皆さんのものです。

図書館の方でも、皆さんの役に立とうといういろいろ企画しています。昨年は、映画を観て世界を知ろうということから、毎週「映画の日」を設けました。また、世界や社会の第一線で活躍している人を招いて「講演会」を開き、たとえば、オリンピックの水泳で活躍した中西悠子さんに話をして頂きました。さらに、皆さんの読書の機会を促すために「図書館書評大賞」を設定したところ、総計30篇の応募作品がありました。なかなか力のある作品でした。摂南大学生もかなり批評力や文章力のある学生が多いことがわかりました。

若いときは何事にもとり組んでいこうとする姿勢が大事です。大学はその希望をかなえてくれるところです。そして、自ら学び、自ら考え、そして新しい自己を発見し、自己を高めるところ、出来ればいい友達をつくる、そんな場として図書館を利用してください。

CONTENTS

図書館を利用しよう (穴戸 通庸) 1
新入生のみなさんへ.....2・3

「図書館書評大賞」応募要領..... 4
「おもしろ図書館実行委員」募集..... 4



新入生のみなさんへ！

2006年度卒業生からのアドバイス

「将来の自分を見つけよう」



工学部電気電子工学科 卒

鳴門教育大学大学院進学

まつ した こう し
松 下 弘 二

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから4年間という長い学生生活を送ることとなりますが、期待と不安で一杯だと思います。

私が、図書館をよく活用するようになったのは、将来の夢を持った時からです。それまで一切本を読まなかった私が、夢の実現に向かうために、多くの本を読むことになりました。私は、その時読んだ本により、自信を与えてもらい、夢が実現しました。

学生生活では授業はもちろんのこと、クラブ活動、ボランティア活動、アルバイトなど、様々なことに打ち込めると思います。これらの何か一つに全力で打ち込むことにより、将来の夢を明確にしていけると思います。積極的に行動し、4年をかけてしっかりと、将来の夢を探してみてください。見つかった時に、図書館を訪れば、必ず良い本と巡り合うことができるでしょう。

最後になりましたが、新入生の皆さんが充実した大学生活を送られることを願っています。

「チャレンジの時間」



国際言語文化学部 卒

大阪ヒルトン(株)勤務

こ が 賀 あ や
古 賀 あ や

新入生の皆さん、待ちに待った大学生活のスタートですね。不安や期待の入り混じった緊張感での出発かもしれませんが、大学生活は皆さんにきっと多くのチャレンジを与えてくれる時間になると思います。私も初めは「友達できるかなあ、勉強についていけるかなあ」とハラハラドキドキのスタートでした。しかし、そのような不安は入学し

て一週間もしないうちに吹き飛びました。次から次へとやりたいことや興味があることが見つかったからです。私の大学生活は、時間がいくらあっても足りないくらい充実したものになりました。

私が大好きだった場所の一つに図書館があります。試験期間中は必ずといっていいほど、図書館に足を運びました。静かな自習スペースでは、集中して勉強をすることができました。また、図書館は出会いの場所でもありました。私と同じように試験期間中に図書館で勉強する友達が多く、時には一緒に勉強をし、授業外でも仲を深めることが出来ました。そして、たくさん揃っている本やDVDは、私を多くの知識と感動に巡り合わせてくれました。気になる作品や話題作を身近に手に取ることができました。最近の映画までも取り揃えてあるので、映画好きな私には堪らなく嬉しいものでした。皆さんも図書館を利用することで楽しい時間が増えるはずですよ。

今までよりも世界が一層広がる大学生。だからこそ、自分を伸ばす時間として、大学生活を楽しんでみてください。

「有意義な時間が過ごせる場所」



経営情報学部経営情報学科 卒

(株)アイル勤務

さかき ばら や え
榊 原 八 恵

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる新しい生活に、期待と不安の両方を抱かれているのではないのでしょうか。

大学生活は「自由」な時間が多い反面、その時間をどう使うかは自分次第です。授業に、サークルに、アルバイトに・・・と大忙し。特に1回生は授業数が多く、両立するのも大変だと思います。

しかし、授業には空き時間があります。そんな時、私のおすすめスポットは「図書館」です。

図書館には、最新の雑誌が置いてあったり、DVDやCDを視聴できたり、空き時間を有意義に過ごすアイテムがたくさんあります。一人暮ら

しの人には嬉しい、新聞もあります。

私自身も授業の空き時間などを利用して、就職活動の情報収集をしたり、卒業論文の資料を集めたりしました。静かで集中できる環境も、図書館だからこそ。資格試験の勉強やテスト勉強にも最適です。

4年間は本当にあつという間です。時間を有意義に使い、失敗を恐れずに多くのことにチャレンジして、成果あふれる学生生活になることを願っています。

「自分にあつた 利用方法を」



薬学部薬学科 卒



九州大学大学院進学
え とう ゆう き
江 頭 佑 規

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大きな期待と希望を胸に、大学生活を始められていることと思います。大学生活をどの様に過ごしていくかは、人それぞれですが、これからの6年間の大学生活を充実したものとして下さい。

さて、これから大学で勉強していくにあたり、私がお勧めしたいのは、図書館を有効に利用することです。図書館には、薬学に関する専門書や小説、雑誌、新聞、DVDなどが置いてあります。また、図書館には、閲覧室や勉強机があり、試験前などの勉強場所として利用することができます。

私は、大学の講義で分からないことを調べる時や大学院試験の勉強などで、よく図書館を利用しました。図書館には、多くの専門書があるので、疑問のほとんどは解消できました。また、勉強をしていて集中力が切れた時に、小説や新聞、雑誌などを読むことで気分をリフレッシュすることができました。

他にも、自分が読みたいと思っている本が図書館にない時には『希望図書購入制度』を利用して、その本を購入してもらいました。

このように図書館の利用方法は、人によって様々です。『自分の時間』をどの様に過ごすかで大学生活は大きく変わると思います。自分の将来について、早くから準備し、皆さんが充実した大学生活を送られることを願っています。

「私の学生生活と 図書館」



法学部 卒

京都府警勤務

なか かわ たか ゆき
中 川 堯 之

まずは新入生の皆さん、摂南大学への御入学おめでとうございます。これから皆さんは大学生として楽しく自由な生活をしていくわけですが、それを実現するために施設利用のアドバイスの一つとして、私が学生生活において図書館をどう利用してきたかを書きたいと思います。参考にさせていただければ幸いです。

一、二回生の頃は受講する講義数が多かったので、待ち時間が長くなる時は趣味の映画観賞や映画の雑誌を読み込んで図書館へよく通っていました。勿論、試験やレポートの調べものでも利用していました。三回生になると受講数も減り待ち時間も無くなりましたが、公務員試験の勉強のため友人達と自習室代わりにしていました。勉強する環境としては申し分なく集中できます。四回生では、誰もが避けて通れない卒業研究論文の資料探しのために、月に一度は利用していました。卒業研究に使う資料は専門的になるほど町の図書館では見つからない場合も多いので、大学の図書館で探すほうが便利だと思います。また図書館の職員の方々も大変親切で、私が捨て猫を拾ったときも親身になって猫の飼育本などの相談に応じていただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。

皆さんがこれを読むころには私は卒業していると思いますが、これから四年間この大学で過ごす皆さんには、この図書館をうまく活用していただいて、良い思い出を残せるような学生生活を送って貰いたいと思います。

ライフライツツアーのご案内

図書館(本館)見学ツアーの参加者を募集します。
新入生はもちろん高年次生の参加も歓迎します。

1. 出発日 4月9日(月)~4月13日(金)
2. 集合時刻 10時40分、12時30分
14時40分、16時20分
3. 集合場所 10号館1階 図書館前

◎所要時間 約30分、事前申込不要



「第2回（2007年度）摂南大学図書館書評大賞」応募要領

1. 応募要領

応募資格：摂南大学の学生。ただし大学院生は除く。
 書評対象図書：本学図書館所蔵の図書であること。
 提出要領：800字以上1200字以内（未発表のものに限る）。
 原則として、ワードまたはテキスト・ファイルで作成し、メールの添付ファイルで応募先のアドレスまで送信（提出）してください。
 応募は1人1篇とします。応募後の書評の使用権は摂南大学に帰属します。
2. 日程

応募期間：2007年6月1日（金）～9月28日（金）
 選考期間：2007年10月1日（月）～10月29日（月）
 入賞発表・表彰式：2007年11月16日（金）
 入賞発表後に表彰式を行います。応募者は全員出席してください。
3. 表彰

大賞1名 [表彰状と副賞（図書カード2万円）]
 優秀賞2名 [表彰状と副賞（図書カード5千円）]
 佳作3名 [表彰状と副賞（図書カード3千円）]
4. 応募先

図書館・本城和男（ホヅヨウカオ）、E-mail：honjo@ofc.setsunan.ac.jp



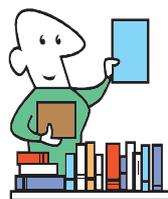
「書評大賞」とは、読書感想文ではなく「書物の内容を自分なりの視点で簡潔に紹介・分析すること」を評価します。あなたも一度、チャレンジしてみてください。

2007年度 おもしろ図書館実行委員募集！ ～あなたも参加してみませんか～

図書館にアナタの声を反映させてみませんか。ややこしいルールや縛りはありません。呼びかけや相談に乗ってもらえれば、それで充分です。アナタの声をお聞かせください。

- 募集期間：2007年4月9日（月）～ 随 時
- 募集人員：制限なし（希望者全員）
- 活動期間：2007年5月7日（月）～12月20日（木）
 ＊ただし、試験期および長期休暇中は除きます。また、期間の短縮など希望があれば変更可能です。
- 活動内容：図書資料の選定、ビデオ・DVD資料の選定、図書館行事へのアドバイス、一人の利用者として図書館利用について意見を述べる、などです。
- 応募要領：まず、図書館のホームページを見てください。応募はメールで受け付けます。
 入力項目は【 所属（学科）、 学籍番号、 名前、 携帯番号】です。
 不明の場合は、3階・レファレンスカウンターまでお尋ねください。

摂南大学図書館



編集後記

昨年、「チボー家の人々」を読破した新生生がいました。この本は多くの学生に読み継がれ、現在は、保存書庫に保管しています。なんだかとても嬉しい気分で書庫から取り出しました。今年はどうな本と再会できるのか、奉仕係の密かな楽しみです。

摂南大学図書館報「としょかんだより（学而）」 85 2007.4

編集・発行 摂南大学図書館 本館 〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8 TEL.(072)839-9111

枚方分館 〒573-0101 大阪府枚方市長尾峠町45-1 TEL.(072)866-3102

印刷 サツキ印刷株式会社 〒572-0024 大阪府寝屋川市石津南町8-2 TEL.(072)828-0171